

基本施策評価シート

基本施策最終評価

B

基本施策通し番号 27

基本施策 地域間交流の推進

構成施策

施策番号	施策名	施策最終評価
施策1	広域的な交流の促進	B

成果指標

指標	内容	令和2年度 目標	令和2年度末 実績	単位	令和2年度の成果の検証
交流を行う自治体数	自治体間において、姉妹都市など交流に関する協定を締結し、交流している自治体数	15	15	自治体	増減なし

後期基本計画策定時の「現状」と「課題」

現状	これまで本市では、姉妹都市や友好市町などと積極的に交流を図ってきた。
課題	交流人口を拡大するためには、より広範囲の地域と交流を促進する必要がある。今後は、姉妹都市や友好市町との友好的なつながりを生かしつつ、中部縦貫自動車道の県内全線開通を見据え、多方面の都市との交流を強く進め、経済交流へ発展させることが課題である。

社会情勢・市民ニーズの変化

- ・以前は交流のきっかけは「歴史的経緯」によるものだったが、最近は「観光連携」「災害連携」「人事交流」などの新しいつながりにより、交流が拡大している。
- ・新型コロナウイルス感染拡大により、人が集う交流事業の実施が困難となっている。

現在の「現状」と「課題」

現状	・姉妹都市等への市民レベルの交流が行われているが、ほぼ訪問事業のみである。
課題	・本市における経済効果を生むために、受入事業を増やす必要がある。

基本施策の「成果」

成果	・茨城県古河市との姉妹都市提携盟約30周年を記念して、パネル展及び広報特集記事の掲載を両市で実施し、市のPRが図られた。 ・新型コロナウイルス感染拡大により人が集う交流事業が実施できず、姉妹都市等の交流を拡大することができなかった。
----	---

改善点

- ・コロナ禍における有効な交流事業の方策について検討する。
- ・協定締結自治体とのつながりを生かし、経済交流に発展させる方策を検討する。
- ・姉妹都市などからの交流事業受け入れの増加及び推進を図る方策を検討する。